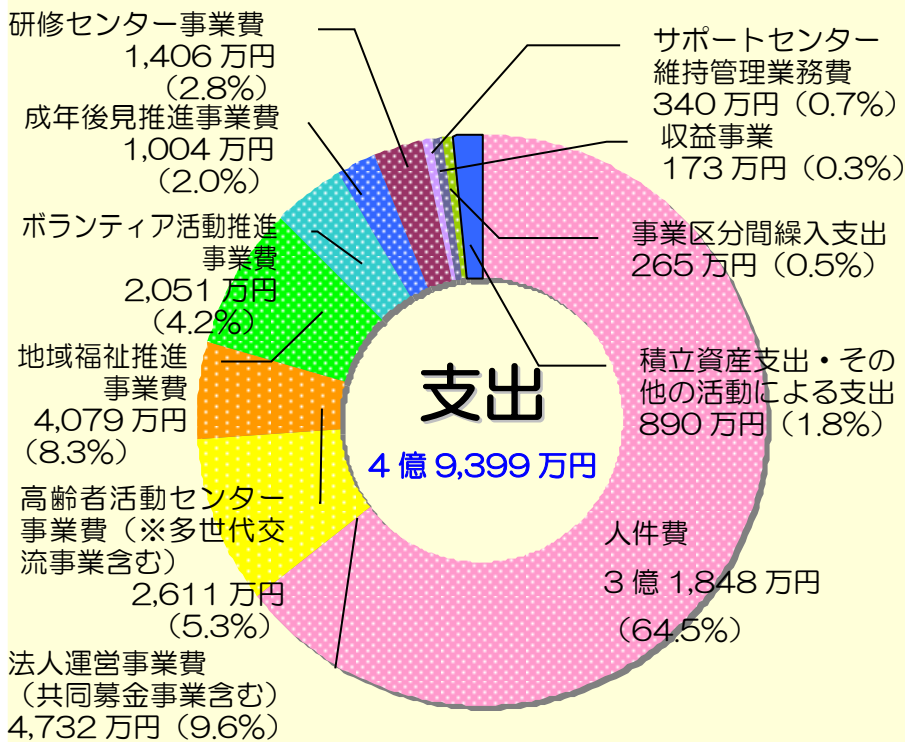
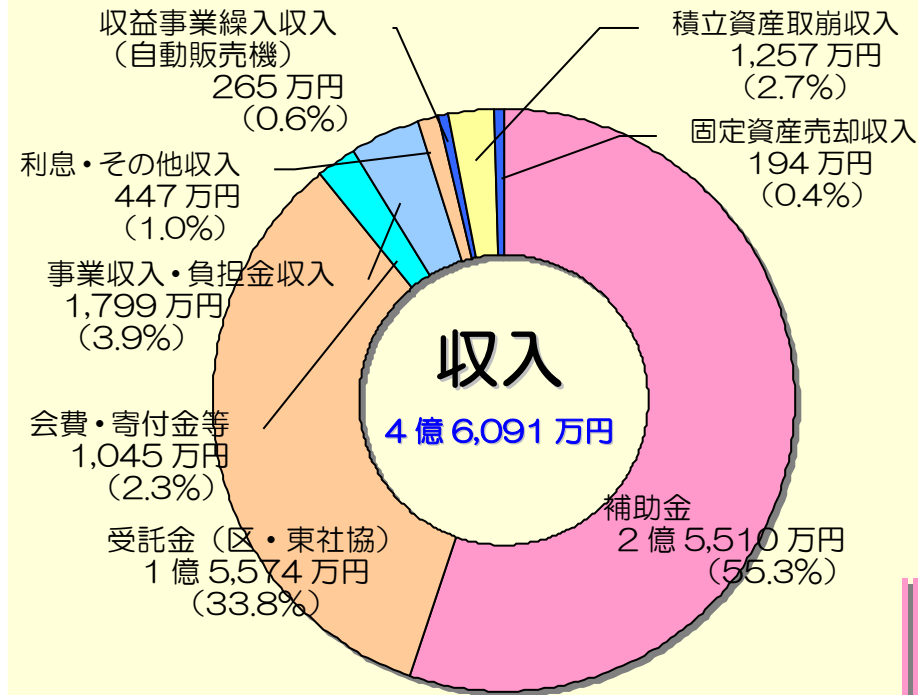




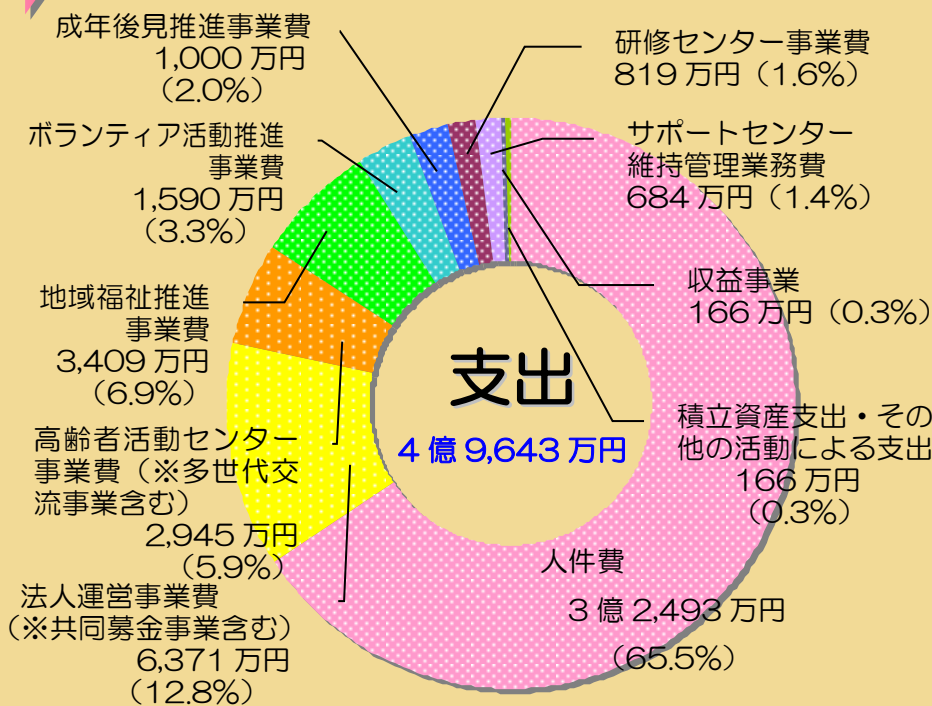
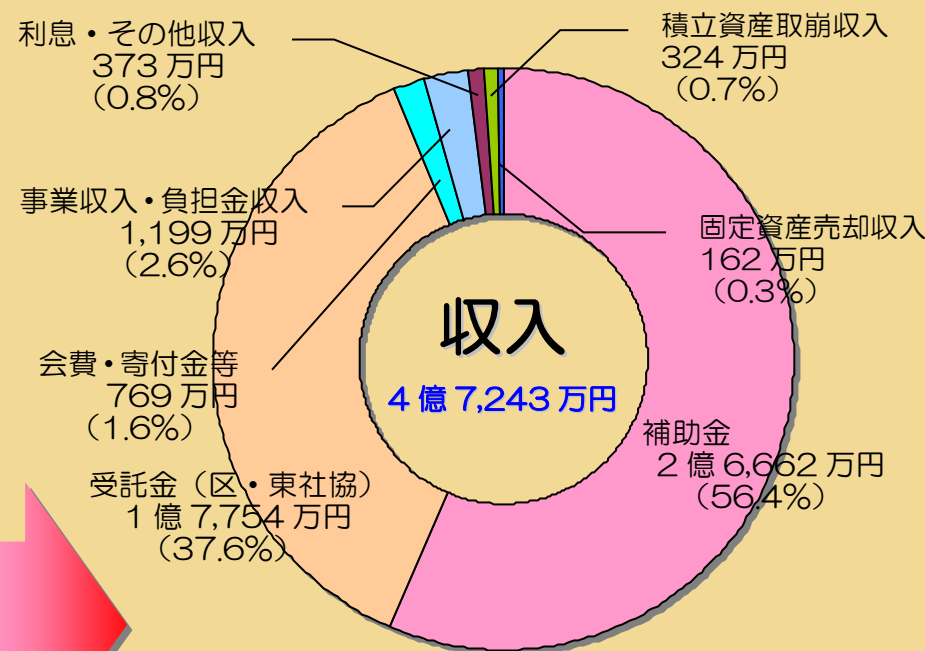
ちよだ社協 令和2年度 決算の概要 (法人単位資金収支計算書より)

令和元年度 決算額



①当期資金収支差額 ▲3,308 万円
 ②当期活動増減差額 ▲3,485 万円
 ③純資産合計額 6 億 7,771 万円

令和2年度 決算額



<前年度比 244 万円増 (0.5%増)>

①当期資金収支差額 ▲2,400 万円 (資金収支計算書より)
 ②当期活動増減差額 ▲2,849 万円 (事業活動計算書より)
 ③純資産合計額 6 億 4,922 万円 (財産目録より)

特記事項

【収入について】

- 区補助金収入の増額 (約 1,152 万円増)
定期昇給および正規職員の新規採用により人件費が増額となりました。
- 受託金収入の増額 (約 2,180 万円増)
新型コロナウイルス対策に関わる生活福祉資金特例貸付業務、シルバーセンターニングスタジオ事業、かがやきプラザ 1 階総合受付業務に対する委託金が増額となりました (補正予算を組んで対応)。
- 会費・寄付金、事業収入・負担金収入、利息・その他収入の減額 (合計約 950 万円減)
新型コロナウイルスの影響による会費、寄付金、自動販売機売上げ収入の減額、事業の中止、規模を縮小した開催やオンライン (インターネット) による実施等による利用料等が減額となりました。
- 積立資産取崩収入の減額 (約 933 万円減)
退職金充当費用が減ったことにより減額となりました。

【支出について】

- 人件費支出の増額 (約 645 万円増)
定期昇給および正規職員の新規採用により人件費が増額となりました。
- 法人運営事業費の増額 (約 1,639 万円増)
新型コロナウイルスに関わる緊急支援事業 (マスク・アルコール消毒液等の寄付、クオカードの贈呈、活動支援助成等) を実施したため増額となりました (補正予算を組んで対応)。
- 高齢者活動センター事業費の増額 (約 334 万円増)
健康づくり事業および多世代交流事業について、トレーニングマシン運動指導員の委託料と、新型コロナウイルス対策として映像配信や DVD を作成して利用者に贈呈したことなどにより増額となりました。
- サポートセンター維持管理業務費の増額 (約 344 万円増)
新型コロナウイルス対策として、かがやきプラザ 1 階総合受付に警備員および非接触型体温センサーを設置したことにより増額となりました。
- その他事業費等の減額
新型コロナウイルスによる事業の中止、規模を縮小した開催やオンラインによる実施等により減額となりました。
- 積立資産支出の減額 (約 724 万円減)
退職金実績額および退職給与引当金 (自主財源分) を組み入れる必要がなかったことにより減額となりました。

【その他】

- 緊急援護金貸付及び支給事業の債権処理 (757,320 円)
区生活支援課と連携して実施している本事業の貸付金について、未償還金が民法の消滅時効を超えたため、顧問公認会計士の指導の下、経理規程第 39 条 (債権の免除等) に基づき資産から除去しました。

【社会福祉充実計画について】

当初予算として約 7,000 万円の自主財源の支出を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う収入の増額 (補正) および、ふれあい福祉まつりをはじめとする事業の中止、縮小等による支出の減少により、約 2,850 万円の支出にとどまりました。